

平成29年度 事業報告書
(社会福祉法人秋田県母子寡婦福祉連合会 本部)

I 事業目的

秋田県母子寡婦福祉連合会定款の目的を達成するため、中期振興計画に基づき、積極的に事業展開を行うとともに、連合会事業の健全な運営に努めた。

II 重点事項

1 新中期振興計画の策定

前中期振興計画の計画年度は平成24年度から平成28年度までの計画年度であり、新たに次期中期振興計画を策定する必要があった。

また、平成29年度には改正社会福祉法人制度が施行される年度であることから、この法人改正を踏まえた6月8日開催の理事会において、新中期振興計画（平成29年度～平成33年度）が承認された。

2 会員の加入促進

会員の加入促進を図るため、親子交流会を通じた会員の勧誘活動を行ったほか、全国母子協の奨学金制度の活用を図るなど、更なる情報発信を行いPRの向上に努めた。しかし、ホームページの大幅なリニューアルについては次年度に持ち越した。

3 新規事業の情報収集

大幅な会員数の伸びが期待できない状況から、既存施設会計からの本部繰入金増額の増額や経費の節約に努め、本部会計収支の安定化に努めたほか、さらに、財源確保の一手段としての新規事業への取り組みのため、情報収集に取り組んだ。

4 職員の福利厚生充実

職員の資産形成のための勤労者財産形成貯蓄の法人契約を行った。

5 事務・事業の効率化

法人本部並びに各施設毎の文書管理規程策定のほか、各種規程の整備・改正に努めて事務の効率化を図ったほか、新たに情報セキュリティ機器の導入や役員賠償責任保険の加入など、財政状況を勘案しながら必要最低限の執務環境整備に努めた。

Ⅲ 事項別事業実施

1 団体育成

(1) 郡市母子寡婦福祉連合会長会議の開催

平成29年4月25日(火) 於：明德地区コミセン 参加者14名

(2) 母子部代表者研修会

平成29年7月 2日(日) 於：明德地区コミセン 参加者17名

2 関係団体会議等参加

(1) 東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会

平成29年9月30日(土)～10月1日(日)

於：北海道札幌市

参加者：会長他12人

(2) 全国母子寡婦福祉研修大会

～平成29年11月4日(土)～5日(日)

於：愛知県名古屋市

参加者：会長他 3人

3 その他の会議開催

(1) 理事会(持ち回り含む)

5回

(2) 評議員会

2回

(3) 苦情解決委員会

1回

(4) 施設長会議

7回

4 夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金制度」への推薦

(1) 実施主体

一般財団法人 全国母子寡婦福祉協議会

(2) 内容

ア 全国400名の募集(秋田県枠4名)

イ 奨学金 月額3万円の給付

ウ 対象学年 中学3年生、高等学校(1～3年生)、高等専門学校(1～3年生)等に在籍する生徒

(3) 秋田県選考委員会を設置し、応募者14名の中から選考を行い、秋田県母子寡婦福祉連合会の奨学生候補者として5名(補欠1名含む)を推薦し、4名が決定された。

5 調査広報活動

(1) インターネット(ホームページ)での広報

6 運営資金の造成

- (1) 母子寡婦福祉手帳の頒布

7 基金の運用

- (1) 小畑母子福祉基金の運用（学術奨励金の交付）
- (2) こでまり資金の貸与（全県母子生活支援施設入所者対象）

8 社会福祉施設の運営

- (1) 秋田県陽光園（秋田県の指定管理者業務受託：平成28年度～32年度）
- (2) 秋田わかばハイム
- (3) あきた保育園
- (4) かわぐち保育園

9 公益・収益事業の運営

- (1) ひとり親家庭就業・自立支援センター事業
- (2) 母子寡婦雇用促進対策事業
- (3) 一時保護所の給食業務の受託経営
- (4) 物品販売協力事業

10 その他

- (1) 法人内部監査（29年度決算）の実施
平成30年5月29日（火）～30日（水）の2日間